



UTO から世界へ！ 第1号

なぜ今、海外に目を向ける必要があるのか？

★海外に目を向けるということは自分の視野を広げるだけでなく、自分を見つめなおす絶好の機会。

- ・「世界を知る」：世界は途方もなく広いけれど、結局同じ人間なのだ気づく。
- ・「日本を知る」：外から日本を見ると、その良さも課題も見えてくる。
- ・「自分を知る」：多様性に満ちた世界を感じることで、自分は自分でいいんだと思う。

★英語を使いこなして、世界を楽しもう！

- ・インターネット上の情報の約63%は英語
- ・理系の共通言語は英語
- ・英語+数学がグローバル人材には必須の力
- ・まずは1日2時間の勉強時間を確保

日本の今

★スイスのビジネススクールIMDによると、「グローバルで活躍する日本人は少ない」という調査結果。

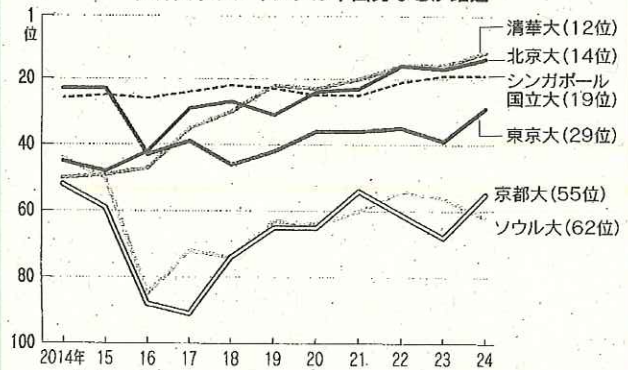
- ・人材競争力43位／主要64カ国中
2005年調査開始以来最低
- ・上級管理職の国際経験 最下位
- ・上級管理職の語学力 ワースト5位
- ・「日本は全然先進国ではない」

ユニクロ柳井正氏が警鐘

★世界大学ランキング東京大は29位

(2024年4月8日付け日本経済新聞)

世界大学ランキングは中国勢などが躍進



(注)タイムズ・ハイヤー・エデュケーションの資料からアジアの主な大学を抽出、カッコ内は2024年の各大学の順位

台湾の今「親子で考えるグローバルセミナー」に行ってきました

- ・半導体産業 TSMC は日本の技術を受け継ぎ、世界の一流企業に
- ・R6年2月、菊陽町に工場オープン
- ・TSMC なしではアップルも立ち行かず
- ・台湾の大学では半導体関連学部をつくり、人材育成が盛ん
- ・TSMC は日本人学生向けに奨学金を出し、台湾の大学卒業後は日本の TSMC で採用予定
- ・台湾は留学してよかったランキング5位
- ・台湾の大学で専門課程を学びながら「新世界三大言語（英語・中国語・プログラミング言語）を同時に習得
- ・大学4年間にかかる費用(\$1=¥145)
台湾国立・私立 最大400万円
日本国立（自宅通学）約870万円

ごあいさつ

今年度から主幹教諭として赴任しました梶原です。昨年度までは県教育委員会義務教育課英語・日本語教育推進室で、海外から熊本に入ってくる児童・生徒、熊本から海外に出ていく高校生のお世話をしていました。TSMC 従業員の多くが、お子様を熊本に連れてきておられ、そのほとんどがインターナショナルスクールで学ばれています。熊本県でもグローバル人材の育成が急務です。これまでの経験を活かし、本校教育目標の一つであるグローバル人材の育成に貢献できればと考えています。次号も楽しみにしててください！





UTO から世界へ！

第2号

グローバル講演会を実施 ～宇土から世界へ！未知なるものに挑め！～

4月15日(月)、株式会社ISA 取締役 西日本総括本部長 吉田 裕 氏に講演していただきました。私が最も驚いたのは、世界の大企業、Starbucks、Google、IBM、YouTube、Microsoft、チャンネル等の最高経営責任者は全てインド人であるということでした。しばらく前に大爆笑インド旅行記を読んで以来、インドという国の虜になっていた私ですが、こんなにも世界的な経営者を輩出している国だとは知りませんでした。日本も負けてはいられませんね！

インドといえば、4月22日(月)午後5時から本校生徒と株式会社ワークスアプリケーションズ所属のインド出身技術者の交流を予定しています。「AI(人工知能)甲子園」全国大会で入賞した生徒たちが発表内容などを紹介、インド出身の技術者がアドバイスをされる予定です。とても楽しみです。

吉田氏の講演のあとには、U-Cubeに多くの中高生が詰めかけ、講師に質問していました。AIについて、今後消えゆく仕事について、真剣に考える若者の未来はきっと明るいに違いありません。

吉田氏がおっしゃるように、今は金魚鉢のような快適な空間で生活している生徒の皆さんかもしれませんが、将来は大きな海で自由に泳ぎ回るイルカのような人生を送ってくださることを望んでいます。世界へ羽ばたけ、宇土中高生！



英語でスピーチする岸田首相

岸田首相がアメリカの議会で英語で演説しました。ご自身がおっしゃる通り、日本の国会であれほど素敵な拍手を受けるところを見たことがありませんし、何より首相が笑顔でスピーチをしているところを初めて拝見したように思います。「ギャラリーにいる妻の裕子をご紹介します。私が裕子と結婚したという一事をもって、私の決断全てが正しいものであると、皆様に信用いただけるのではないのでしょうか」と笑いをとる。官僚が考えたスピーチだとは思いますが、素晴らしい聴衆の引きつけ方でした。英語圏でユーモアのセンスがあるというのはものすごい褒め言葉で、スピーチの冒頭で笑いをとって聴衆を惹きつけるというのは英語圏の人がよくやる手法です。

言葉と文化は一体であり、英語を学ぶということは英語圏の文化も同時に学んでいることになります。私自身、日本語では恥ずかしくていえないようなストレートな褒め言葉も、(拙い)英語ではスツと出てくるといふ経験を何度もしました。日本では空気を読んだり、察することを求められますが、英語圏では皆まで言わないとわかってもらえないということも経験しました。どちらの文化も私は好きです。言葉の先に広がる世界をこれからも楽しみたいと思っています。

グローバル講演会の講師の方も言われていたように、自分の快適な空間(Comfortable Zone)から一歩踏み出し、新たな世界を知ること、柔軟な発想ができるようになり、ゼロからイチを生み出す人になれるのではないのでしょうか。

そんなことを言っても、1ドル154円の円安だし、海外なんか行けない、と思っている人は、国内でも異文化に触れるチャンスは山のようにあります。例えば、これ、どうでしょう。

Global Studies Program : 7月29日～8月2日に本校で実施する集中英語研修。海外留学生と英語でディスカッション。中3～高3対象。

Summer English Camp in 阿蘇 : 第1日程8月2日から8月6日に国立阿蘇青少年の家で実施する集中英語研修。台湾の大学生との交流、体験活動。高校生対象。

チャンスは待つのではなく、掴みにいこう。Comfortable Zone から一歩踏み出してみませんか。

